

”はる” 春のボランティア活動体験 春ボラ募集中

中津市内の福祉施設・地域で活動をしているボランティア団体のご協力のもと、春休みの期間中にボランティア活動の体験を実施します。

「ボランティア活動をしてみたいけれど・・・」

「何か人の役にたつことをしたいけれど・・・」

と思っている方は、この機会に一步を踏み出してみませんか？

【活動体験先】 (16箇所)

- ・いずみの園
- ・いずみの園かきざ
- ・ややま園如水
- ・フロンティアなかつ
- ・つくし園
- ・修光園
- ・福ろうの家
- ・三光児童館
- ・デイサービスセンター三光
- ・デイサービスセンター耶馬溪
- ・ややま園
- ・永添児童クラブまりあ
- ・すすめの家
- ・中津市豊寿園
- ・デイサービスセンター本耶馬溪
- ・デイサービスセンター山国

【期 間】 3月1日(木)～3月31日(土)

※4月上旬に可能な施設や団体もあります

【対 象】 小学生～社会人のボランティア活動に興味のある方

【申込み期間】 随時受付します

【保 険】 ボランティア活動保険の加入が必要となります
保険料は250円です

【連絡先】 中津市ボランティア・市民活動センター
☎ 23-2095 渡邊・小野



2年ほど前の国のボランティアの意識調査で、ボランティア活動に「関心がある」と答えた人は「少し関心がある」人も含めておよそ60%でした。つまり100人いたら60人は関心があるということになります。そして関心はあるのに実際に活動経験があるのは約25%、つまり100人中活動経験があるのは15人で活動につながらない人が45人いるということになります。つながらない理由の一番は「時間がない」ですが、次いで多いのが「情報がわからない」という理由です。情報さえわかればもっと参加実践する人が増えることになります。インターネットや広報紙などありますが、継続したボランティア活動のもっとも有効なきっかけは「声かけ」です。これは今活動している人の多くがこれをきっかけとしていることが証明しています。

あるのは15人で活動につながらない人が45人いるということになります。つながらない理由の一番は「時間がない」ですが、次いで多いのが「情報がわからない」という理由です。情報さえわかればもっと参加実践する人が増えることになります。インターネットや広報紙などありますが、継続したボランティア活動のもっとも有効なきっかけは「声かけ」です。これは今活動している人の多くがこれをきっかけとしていることが証明しています。

国のデータ結果を中津市内の成人人口にあてはめると、およそ4万人近くの方がボランティアに関心があって、実際に活動している人が1万人くらいとなります。中津市社協のボランティア・市民活動センターに平成29年度に登録されている方は団体個人含めおよそ5,000人です。5,000人がもう一人に「一緒にやってみない？」という「声かけ」をすると1万人の人が活動するようになるんだなあと中津市のボランティアの輪の広がりの可能性についてお茶を飲みながらお話してみませんか？



自分にできることから 始めてみませんか？

.....へんしゅうこうき.....

友人が訪れて昔話に花が咲き、なぜかほこりをかぶったアルバムを引き出すことになった。当時の髪形や装いには大笑い。久しぶりにお腹から笑ったひと時でした。でも若くて今より少しだけ痩せていた自分に戻れたらなあ。と思いました。時間よ戻ってこい！！ ボランティアコーディネーター：～わたなべゆかり～

ボランティア・市民活動情報紙

ぺんぎん



3月号
No.229

え：よしだみずほ

2018年3月7日

《発行》中津市ボランティア・市民活動センター(中津市教育福祉センター内)

〒871-0021 中津市沖代町1-1-11 TEL 23-2095 FAX 24-7682

《ホームページ》http://www.nakatsu-s.or.jp/ E-MAIL volunteer@nakatsu-s.or.jp

グループ活動紹介

地域を繋ぐボランティア活動 中村集落ゴミ追放の会



耶馬溪町中村地区のボランティアグループ、「中村集落ゴミ追放の会」は、毎月第3日曜日の8時から清掃活動をしています。昭和62年に中村営農研修センターが竣工されたときに住民が集まりカラオケクラブや囲碁の会、歩こう会、ゴミ追放の会等の様々な活動を始めました。それぞれがこのセンターを中心に世代を超えた住民がこの地域ならではの繋がりを持った活動でした。

今現在は、「ごみ追放の会」だけが31年間継

続されています。一軒から数名の幅広い年齢層の方が、誰から声をかけられることもなく時間になるとゴミ袋と火ばさみを手にして集まってきます。代表の挨拶をかわきりに、みんなで中村集落を1周してゴミを集め、集まったゴミは分別して収集場所に置きます。

参加者の方は、「毎月1回の活動がとても楽しみです。顔を合わす機会がめっきり少なくなったこの頃ですが、ゴミを拾う事で綺麗な環境を保つ事が出来、また、近況を互いに話しながら歩くことで健康にもつながり、住民同士の楽しい時間を過ごせます。だから、この活動が継続されてきたのだと思います。これからも、私の体が元気で動ける間は継続していきたいと思います。」とにこやかに話して下さいました。



《会員数》 28名
《設立》 昭和62年6月
《代表》 神後 吉幸
《連絡先》 090-2712-1290



《会からのメッセージ》

特別な事ではなく自分たちが暮らす地域でゴミを拾う事が環境美化に繋がりをお互いのコミュニケーションを持つことで何か起きた時に声をかけ合える地域でいたいと思います。今後もこの活動を継続して行きたいと考えています。

ボランティアの出会い…NO.17

あべ 安部 恭一さん

～あの人のボラとの出会い
気になりますか？～

私は教員時代に卓球の指導をしていました。健康で元気が当たり前だと思いき、競い勝つことに喜びや達成感を感じていました。そんな折、引越先先の我が家の近くにろう者が住んでおり、声をかけても反応がなかった。何とか話をしたいと考え、手話の勉強を始めた事がボランティア活動のきっかけです。

手話講習会初級に始まり中級を終えた頃に「おむすび交流会」（視覚障がい者と聴覚障がい者同士のふれ合い）というイベントに参加をするようになりました。平成6年から2年間はボランティア連絡協議会の副会長と手話サークルさつきの会長を兼任。活動の中でろう者自身が自信を持って生きて行けるようにと平成7年「ろう者劇団ひまわり」のを立ち上げに関わりました。また平成11年からの2年間、再度ボラ連の副会長としての活動の後、仕事である学校教育に専念。ボランティア活動を通しての自身の学びを活かし、カリキュラムへの手話の取り入れ、手話部の創設、また生徒を身体障がい者ふれあい運動会やユニボタに参加させるなど、学校教育にボランティア活動を取り入れ、その精神を生徒に根付かせていきました。

ボランティア活動に出会い、多くの人に出会った事で、私自身教育観が変わったように思います。「花は咲く時期も違えば、色も違うし、大きさも違う。」出来ることだけに眼を向けるでなく、出来ない部分に眼を向け、出来るように助言する。その人が持つ潜在的な力を活かす事の大切さに気付きました。いま中津においては生活の中にボランティア活動が溶け込んでいっているように思います。その中で心根の優しい人が育ち、さらにさらに優しい街となって欲しい。「やさしいひとであれ ゆるせるひとであれ よりそえるひとであれ」そんな人が育って欲しい。そう願っています。



すずめに「手芸部シュシュ」が発足しました



沖代寄り合い所 すずめの家に木曜日に集まっていた12名の女性により、「手芸部シュシュ」が平成30年1月に発足しました。「手芸部シュシュ」は、繋がりという意味を持つネーミングだそうです。

毎週木曜日に手芸の大好きな12名が針と糸を持ちながらわいわいと熟練した手さばきや絶妙な声の掛け合いで手作りならではの温かみのある素敵な作品を作っています。沖代すずめは、以前から沖代公民館で活動をしている子育てサークル「沖代なかよし広場」との交流があり、買い物ごっこに使う作品作りと、すずめの家が4月に行うバザーに出店予定があり直近の製作となっています。沖代すずめは、沖代地区の住民福祉活動の拠点であるすずめの家で、火曜日と金曜日にはサロン活動を行っています。また、「出前演芸部」があり、さらに今回、「手芸部シュシュ」が加わり益々大所帯となりました。今回始まった「シュシュ」も、地域の拠点を使う活動の一つでもある事から、地域との関わりを長く大切に紡いでいってほしいと思います。

募集!!

自宅で眠っている古布を頂けると嬉しいです。
連絡先：090-8665-4387（衛藤）



グループ活動紹介 『クローバー』 今月のおすすめの一品 バナナケーキ

材料（10人分） ◆バナナ ……大2本
◆無塩バター ……100g ◆薄力粉 ……200g
◆グラニュー糖 ……150g ◆ベーキングパウダー ……小さじ2
◆卵 ……大2個 ◆酢 ……大さじ1

手順①

バターを泡立て器でクリーム状にし、グラニュー糖を入れ白っぽく、ふんわりなるまで混ぜる。

手順②

卵を溶いて①に合わせる。

手順③

ふるっていた薄力粉とベーキングパウダーの半量と、つぶしたバナナを2回に分けて混ぜる。最後に酢を加える。

手順④

長方形の型に入れオーブン170～180℃で約50分焼く



ポイント

酢は、ベーキングパウダーの臭みをとります。



会員数》 22名（女性）
活動日》 第2水曜日
活動形態》 配食
活動場所》 北部公民館
対象場所》 竜王・角木
下正路・間無
コスチューム》 白い割烹着

☆☆ 会のみなさんから一言 ☆☆

私たちの会は、発足して24年目になります。「健康・親睦・友愛」を趣旨として、これまでボランティア活動をやってきました。「私が受給者になってもおかしくない年齢なのに」と思いながらも、月に1度の活動を今か今かと、楽しみにしています。また、配食の時には、お顔を拝見しながら、生活の様子をうかがったりと会話も弾みますが一番は、「美味しかったです。有難うございました。」の一言が活力の源や励みになります。これからも身体が動ける限り活動を続けていきます。

ボランティア講座「クッキング男塾」を開催しました!!

2月14日（水）、中津市社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター主催で小楠コミュニティセンターにてボランティア講座を開催しました。この講座は、男性がボランティアをはじめとした地域の活動に関わるきっかけづくりや仲間づくりに繋がることを目的としており、当日は20名の参加がありました。



《調理中のようす》

講師は、東九州短期大学の木下 美千代先生、当日のサポートとして村沢 一恵さんをお招きし、約1時間で5品を調理しました。皆さん、野菜の切り方や作る手順に戸惑いつつも、お互い声をかけあって和気あいあいとした雰囲気の中で調理をされ、料理を完成されました。

調理後は、会話を楽しみながら食事をされ、講師の先生から栄養面や調理時のポイントを解説いただきました。

男性を対象としたボランティア講座は今回初めての試みでしたが、参加者の皆さまより次回開催希望のお声をいただきましたので、今後も地域の活動への参加につながるような試みに取り組んでいきたいと思っています。今後も活動の支援をしていきたいと思っています。

